



## 【警報発表中の火山の活動状況及び警報事項】

### 三宅島みやけじま [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

今期間、噴煙の高さは、火口縁上0～100mで経過しました。

火山性地震は、少ない状態で経過しました。

三宅村によると、山麓ではまれにやや高濃度の二酸化硫黄が観測されています。

山頂火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、山頂火口周辺（雄山環状線内側）では噴火に警戒してください。また、火山ガス予報で火山ガスの濃度が高くなる可能性があるとして予想される地域では、火山ガスに警戒してください。

### 西之島にしのみま [火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報]

海上自衛隊などの観測によると、活発な噴火活動が続きました。

西之島では、今後も噴火が続くおそれがありますので、西之島付近では噴火に警戒してください。また、周辺海域では浮遊物に注意してください。

### 硫黄島いおうとう [火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報]

火山性地震は3月からやや多い状態で経過していますが、今期間はやや少ない状態で経過し、火山性微動は観測されませんでした。

国土地理院のGNSS<sup>1)</sup>観測によると、地殻変動は2014年1月頃から停滞していましたが、2月下旬頃から隆起の傾向がみられています。

硫黄島の島内は全体に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生しています。このことから火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火が発生している地点（旧噴火口等）及びその周辺では噴火に警戒してください。

### 福德岡ノ場ふくとくあかのば [噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報]

今期間、海上保安庁海洋情報部、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁による上空からの観測は行われませんでした。これまでのこれら機関の観測によると、福德岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されており、今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では噴火に警戒してください。

### 霧島山きりしまやま（新燃岳しんもんだい） [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

新燃岳では今期間、噴火は発生しませんでした。

火山性地震は少ない状態で経過し、火山性微動は観測されませんでした。

傾斜計<sup>2)</sup>では、火山活動に伴う特段の変化は認められませんでした。

GNSS<sup>1)</sup>観測によると、新燃岳の北西地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張を示す伸びの変化は、2011年12月以降鈍化・停滞していましたが、2013年12月頃から伸びの傾向が見られます。

新燃岳では火口周辺に影響のある小規模な噴火が発生する可能性がありますので、新燃岳火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石<sup>3)</sup>に警戒してください。噴火時には、風下側で火山灰だけでなく小さな噴石<sup>3)</sup>（火山れき<sup>4)</sup>）が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。降雨時には、泥流や土石流に注意してください。

### 桜島さくらじま [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

桜島では、活発な噴火活動が続きました。

昭和火口では、爆発的噴火が7回発生し、大きな噴石<sup>3)</sup>が5合目（昭和火口より500～800m）まで達しました。同火口では、夜間に高感度カメラ<sup>5)</sup>で明瞭に見える火映を7日から8日にかけて観測しました。

南岳山頂火口では、8日11時51分にごく小規模な噴火が発生し、噴煙の高さが火口縁上400mまで上がりました。南岳山頂火口での噴火は1月19日以来です。2日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の平均放出量は1日あたり2000トン（前回4月4日、2900トン）と多い状態でした。

GNSS<sup>1)</sup>連続観測では桜島島内の基線で、2013年7月頃からわずかな縮みの傾向がみられましたが、2014年1月頃から停滞しています。国土地理院の観測結果によると、鹿児島（錦江）湾を挟む一部の基線では、長期的な伸びの傾向が続いていましたが、2013年6月頃から停滞気味です。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石<sup>3)</sup>（火山れき<sup>4)</sup>）が遠方まで風に

流されて降るため注意してください。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。また、降雨時には土石流に注意してください。

### 諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

御岳火口では今期間、噴火は発生しませんでした。

火山性地震は少ない状態で経過し、火山性微動を時々観測しました。

諏訪之瀬島では、長期にわたり噴火を繰り返しています。今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石<sup>3)</sup>に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石<sup>3)</sup>が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

### 【噴火予報発表中の火山の活動状況及び予報事項】

#### 草津白根山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

3月上旬から火山性地震が時々増加する状況が続いており、今期間も火山性地震はやや多い状態で経過しました。地震の振幅はいずれも小さく、火山性微動は観測されませんでした。また、湯釜北側噴気地帯の噴気状況や地殻変動等に特段の変化はありませんでした。

湯釜火口内の北壁等では引き続き熱活動がみられていることから、山頂火口から概ね500mの範囲では、火山灰の噴出等に警戒してください。また、ところどころで火山ガスの噴出が見られ、周辺の窪地や谷などでは滞留した火山ガスが高濃度になることがありますので、注意してください。

#### 焼岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

3日10時過ぎから焼岳山頂の北側数 kmを震源とする地震活動が活発化し、高山市栃尾と松本市安曇で最大震度3を観測したほか、体に感じる地震も多発しました。その後、地震活動は次第に低下していきます。この期間、地殻変動や北峰付近及び岩坪谷上部の噴気状況等に特段の変化はありませんでした。

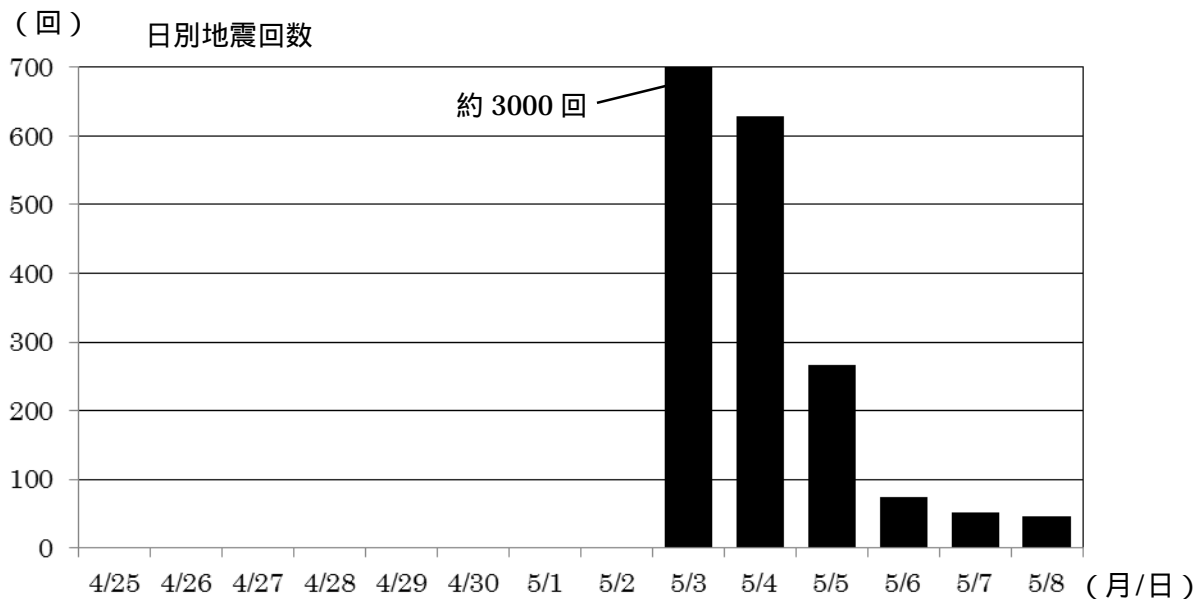


図2 焼岳 地震活動の経過図（2014年4月25日～5月8日）

上記以外の火山では、期間中、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

- 1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。
- 2) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等により変化が観測されることがあります。
- 3) 噴石については、その大きさによる風の影響の程度の違いによって到達範囲が大きく異なります。本文中「大きな噴石」とは「風の影響を受けず弾道を描いて飛散する大きな噴石」のことであり、「小さな噴石」とはそれより小さく「風に流されて降る小さな噴石」のことです。
- 4) 霧島山・桜島では「火山れき」の用語が地元で定着していると考えられることから、付加表現しています。
- 5) 九州地方整備局大隅河川国道事務所が黒神河原上流に設置したカメラ等によります。

注) 本資料は速報的な内容を含みます。データについては精査により、後日修正することがあります。  
詳細については、毎月発表の火山活動解説資料を参照してください。

[http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.htm](http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.htm)

**【参考】 噴火警報・予報と噴火警戒レベル等の対応表**

噴火警戒レベル対象火山		噴火警戒レベル対象外の火山
噴火警戒レベル(キーワード)	警報・予報	警戒事項等(キーワード)
レベル5(避難)	噴火警報	居住地域嚴重警戒
レベル4(避難準備)	火口周辺警報	入山危険
レベル3(入山規制)	噴火予報	火口周辺危険
レベル2(火口周辺規制)		平常
レベル1(平常)		

海底火山については、噴火警報(周辺海域)(キーワード:周辺海域警戒)と噴火予報(キーワード:平常)で発表します。

印のついた噴火警報は、特別警報に位置づけられています。